

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		経営者が会社のあるべき姿および経営理念等を採用時および年度会議時に説明し、共有している。							8	9														17																		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		毎月社内ミーティングの際にコンプライアンス研修を実施し、社内浸透させる取組を図っている。																					16																			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・ 保険代理店として契約者の保護と公正公平な取引に努め、従業員に向けてその重要性を発信している。 ・ 取引先に不当な割引や契約締結がないか、定期的にミーティングで確認している。																		10				16																		
	4	【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		自らの事業活動がお客様を取り巻く社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握し、代表者自ら責任者となり体制を整備している。																						16																		
	5	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる。	●		営業上の標識についての権利の中の商標について、規則を作成し従業員教育を行い、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9													16																		
	6	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している。	●		・ 工作上、知り得た情報、営業秘密を他者(他社)に漏洩しないように管理している。 ・ 個人情報漏洩など無意にパソコン、タブレット等の取扱い(個別のパスワードの設定、取扱者限定)の研修会を行っている。 ・ 退社時には施錠のできるキャビネットへ保管し、持ち出す場合は、個人情報持出管理簿を備え付けて管理している。																						16																		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		保険会社が定期的に実施しているお客様アンケートのフィードバックを必ずしてもらい、顧客の声(苦情・要望・お褒めの言葉等)を大事にしている。																				16	17																			
	8	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10													17																	
	9	【災害や事故への備え】 ・ 地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】2024年3月までにBCPを策定し、定期的に訓練・勉強会を実施する。											9									11		13.1		16	17															
	10	【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者の指導・育成に関する異業種交流会の会合へ参加している。											8	9												17																
	11	【公正な貿易】 ・ フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●							1	2			5		8											12	13	14	15	16	17													
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・ 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内にて差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる職場環境において、年齢、社歴に関係なく呼び捨てを禁止する等、差別しない体制、運営を徹底している。																							16.1 16.2 16.7																	
	13	【労働安全衛生】 ・ 業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		全従業員の車にアラート付きのドライブレコーダーを設置し、交通事故防止に努めている。																				3			8.8																	
	14	【公正な待遇】 ・ 雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		就業規則で同一労働同一賃金の原則に沿った賃金等を定め、従業員(正社員、パート社員、スタッフ)の公正な待遇を行っている。																							8.5 10.2 10.3																	
	15	【ワークライフバランス】 ・ 働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ 残業時間ゼロに取り組むとともに、有給休暇の取得を推進している。また、週休二日制を実施している。																					3						8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・ 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		本業関連の研修・セミナー(e-ラーニング等)の受講を呼びかけるとともに、外部教育訓練講習会への積極的な参加を呼びかけている。																									8	9														
	17	【健康経営】 ・ 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・ 会社負担による健康診断を毎年実施している。 ・ 有給休暇の積極的取得や公休日と連続して取得するなど、心身のリフレッシュに取り組んでいる。																						3			8			17												
	18	【ダイバーシティ経営】 ・ 多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・ 従業員採用にあたり、年齢、性別、人種などの違いによる差別的待遇はない。 ・ 基本的に定年制度を設けていない長期雇用や労働環境整備に取り組んでいる。																											8.5 10.2 10.3		16.7											
	19	【新しい生活様式への対応】 ・ 新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		Web会議やオンライン講習を積極的に取り入れている。																					3				8	9.1			11	12										
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		契約手続きやパンフレット等の電子化を進めるとともに、リモート面談にも取り組んでいる。																											8	9.1			11	12								
	21	【プライト企業】 ・ プライト企業に認定されている。	●																															3	4					8	9				

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 株式会社 ケイ・シー・エヌ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・社内での出るごみの分別に取り組んでいる。 ・マイバッグ及びマイボトルの携行を全従業員と取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・クーラービズを推奨し、事務所のエアコン使用量を削減するように取り組んでいる。 ・【予定】2024年3月までに簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を把握する。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】2023年12月までに代表者の車をハイブリッド車に切り替える。また、2024年3月までに簡易計算シートを使用してCO2排出量を把握する。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・廃プラスチックやレジ袋などのプラスチック製品の削減、お店の回収ボックスに入れられる食品トレイなど、リサイクルの徹底で適切な廃棄に取り組んでいる。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・コピー用紙、トイレトーパーなどは再生紙を購入している。 ・コピー用紙は裏紙としての利用やカットしてメモ帳として利用している。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水型水道、シャワーヘッド等を事務所に設置し、節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・ペーパーレス化推進及び再生紙の利用に取り組んでいる。裏紙の利用も積極的に取り入れている。									9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・従業員に廃棄直前の商品を購入するように呼びかけ、必要最低限の購入に取り組んでいる。	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所内でのプランター栽培や観葉植物を置くなど、植栽に取り組んでいる。また、駐車場には芝生を植えている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・マイボトルを持参し、プラスチックの使用削減に取り組んでいる。 ・マイバッグを活用し、レジ袋の使用削減に取り組んでいる。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・【予定】2023年12月までに代表者の車両をハイブリッド車に切り替える。										9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.17		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 ケイ・シー・エヌ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		重要事項説明書や各種約款の案内を通じて、品質を確保する仕組みを構築している。			3.9						9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		保険上の規定や約款等保険種類毎のパンフレット等を利用し、解りやすい言葉や文章で誰もが理解できるように説明する事を全従業員が心掛けている。また使用する資料も対象者毎に用意する社内ルールを作成している。								9.1	10	11.7								17			
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1			15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・地域の交通安全啓発のために、ドライブレコーダーの普及に努めている。 ・死亡だけでなく、働けなくなった時に備えて生活を守る生命保険商品の提案に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害時の支援、復旧へのボランティア活動に積極的に参加している。 ・代表者は熊本市PTA連合会の会長を務め、子供たちの為に活動している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・商品提案時に、ハザードマップ活用を周知徹底している。 ・事務所において非常用の防災備蓄（水等）を常備している。 ・従業員の緊急連絡先・連絡網を管理している。				4								11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	会社でSDGsに関する研修などを行い、従業員にSDGsの意識を浸透させる取組みを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4				8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4				8.5 8.6											17	
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。